



高台にあるT邸。箱型のシンプルな外観だが、木の柵で囲われた漆喰の白壁が存在感を示す

前面道路からアプローチの階段を上って、玄関先で振り向くと緑の丘陵に広がる住宅地の眺望が広がる。「それまで住んでいたマンションは日当たりがよくなかったので、この環境は魅力的でした」。建主のTさん夫妻はこう話す。

設計・施工を依頼したのは、宝建設。「いくつかの住宅会社も検討しましたが、仕様がパッケージ化されていて、あまり自由度が感じられませんでした。でも、こちらでは、私たちの要望をひとつひとつ聞いてくれて、納得できる家づくりができそうだなと思いました」と妻は話す。

社長の佐藤治正さんからいくつものプランが提案されたが、最終的に夫妻が選んだのは、1階にオープンなLDKが配置された間取りだった。キッチン、ダイニング、リビングがワンルームにまとめられ、吹き抜けに設置された階段が2階へと空間をつなげる。そして、LDKの外側にはL字状にウッドデッキも取り付けられた。

「いろんな方向から景色が見えて、気持ちいいですね。屋外とのつながりを実感できます」と夫。

内装のベースとなったのは、床のタモ材。素直な木目に茶色の塗装を施して、落ち着いた感じのある雰囲気。統一感を出すため、収納扉など室内の木部造作も床と同じタモ材を使用した。夫妻の愛用するソファ、ローテーブルなどもしっくりと馴染んでいる。

「プランニングの際は、特に床材を重視しています。色みや質感などの好みなどを妥協せずに決められると、住んでからの満足度が違いますからね」と佐藤さん。

ゆったりと内外に開けたシンプルモダンな家。30坪ほどの床面積とは思えない広がりがある。生活にゆとりを与えてくれている。

高台からの眺望を取り入れた住まい

EAST・KANAGAWA 宝建設

経験豊富なスタッフの設計力が自慢。
細やかなヒアリングで
オリジナルのデザインに仕上げる

PROFILE

2代目社長の佐藤治正さんは設計事務所での勤務経験があり、幅広く豊富な設計のノウハウを持つ。細やかなヒアリングを通じて建主が納得いくまでプランを検討。吹き抜けやリビング階段などを生かした、立体的な空間構成には特に定評あり。室内に取り入れる風や光も考慮し、「自然素材を中心とした健康的な住宅」を提供している。

DATA

社名/宝建設
代表/佐藤治正
住所/〒213-0033 川崎市宮前区宮崎150
☎044-877-3861
年間建築棟数/新築7棟
社員数/7名
建築地域/首都圏全域(車で2時間以内)
設立/1972年
定休日/日曜日
アフターメンテナンスの対応
・引き渡し1か月後と1年後に無料点検を行う。
要望があれば随時、点検・補習を実施



資料請求時には、会社案内(右)と近年の代表的な施工例集を送付している

COMMENT

お客さまのそれぞれが自分らしい住まいができるような家を提供したいと思っています。そのため、打ち合わせと設計にはなるべく多くの時間を割き、図面も何度も描き直します。施工例や工事中の現場も随時公開していますので、ぜひ一度ご覧になってみてください。

佐藤治正
1964年神奈川県生まれ。日本大学建築学科卒業後、設計事務所に勤務し、住宅のほか、商業施設や病院など幅広く建築設計に取り組む。'95年に宝建設に入社。



階段も一体になったオープンなLDK。床、階段、収納扉など木部の色調が統一されてすっきりとした印象にまとめられた

無垢材の落ち着きが映える シンプルモダンな家

神奈川・横浜市 Tさんの家

家族構成/夫39歳 妻41歳 長女5歳

